

令和5年度 第1回 湖西市子ども・子育て会議 会議録

1 と き 令和5年11月7日（火） 午後2時～3時45分

2 ところ 湖西市健康福祉センター 3階 研修室

3 出席者 委員（氏名五十音順）

公募委員	石田祐子
湖西市シルバー人材センター	大田広美
プライムアース EV エナジー株式会社	河合梓
湖西市公立幼稚園 PTA 連絡協議会	木村弘太
公募委員	榊原朝子
常葉大学 健康プロデュース学部	柴田俊一
湖西保育士会	杉江玲子
湖西地区労働者福祉協議会	谷中宏行
（欠席）	
公募委員	柴田陽加
湖西市校長会	藤井千帆

教育委員会 幼児教育課	課長代理	水野友香
	係長	古畑孝祐
〃 教育総務課	課長代理	仲本真武
	副主任	和久田真希
こども未来部	部長	鈴木祥浩
〃 こども未来課	課長	野原千鶴
	係長	市川由起子
	係長	花島宏枝
事務局		
こども未来部 こども政策課	課長	長田裕二
	係長	尾崎威志
	主任	本庄礼佳

4 開 会

(事務局)

定刻になりましたので、只今から、令和5年度第1回湖西市子ども・子育て会議を開会いたします。

本日の進行を務めさせていただきますこども政策課長の長田と申します。よろしく願いいたします。

では座って進行させていただきます。

まず最初に会議の開催にあたりまして、こども未来部長の鈴木からご挨拶申し上げます。

よろしくお願いします。

(こども未来部 鈴木部長)

こども未来部長の鈴木と申します。本日はお忙しい中ご出席を賜りまして誠にありがとうございます。

さて、国においてはこども家庭庁が設置され、湖西市においても新たにこども未来部を設置し、子育て支援施策を重点項目のひとつとして、日々の事業を行っているところでございます。

現在の子育て支援関連事業につきましては、令和6年度末までを計画期間とする第2期の子ども・子育て支援事業計画を基本として展開しているところでございます。本日の会議では、その第2期計画の進捗状況について、各担当部署の職員が説明し、その内容を委員の皆様にご確認いただくことを主として進めてまいります。

疑問点があればお尋ねいただき、その他ご意見についても積極的にご発言をいただければと考えております。また、令和7年度に向けて、国が年内に示す予定になっておりますこども大綱を勘案して、これまで以上に様々な要素を含む「こども計画」を策定することになっており、こども未来部だけでなく、関係する各部署と連携を強化していくことによって、子ども・子育てに対する支援をさらに充実させていくことが必要となってまいります。

現段階での皆様方のご意見が、今後の政策にとって貴重なものになっていくものと考えておりますので、ぜひご発言をお願いしたいと思っていることを伝えさせていただき、誠に簡単ですが、私のご挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いします。

(事務局)

それでは本日使用する資料の確認をお願いいたします。

まず次第は A4 サイズのものが 1 枚、次に委員の皆様には事前に送付させていただきました「湖西市子ども・子育て支援事業計画 必須項目調査評価（教育保育）」A3 サイズのものが 1 枚、同じく「必須項目調査票（地域支援事業）」、こちら A3 サイズのものが 1 枚、こちら委員の皆様には 1 枚ずつ別に、本日会場で用意させていただいた書類につきましては A3 の両面印刷となっております。

次に湖西市子ども・子育て支援事業計画任意項目調査表、こちらは A3 サイズの両面印刷で 5 枚綴りのものになります。

続きまして、事前質疑に関する資料、こちらは A4 の両面印刷でございます。

最後に A4 で表紙がカラーになっておりまして、4 枚綴りのものが一部。こちらの方を本日の会議資料として配布させていただいておりますが、過不足等ございませんでしょうか。

よろしいでしょうか。

なお、第 2 期湖西市子ども・子育て支援事業計画の冊子をお持ちでないようでしたらそちらにつきましても、お声がけしていただければご用意させていただきますと思います。

それでは進めさせていただきます。

本年度は委員が改正しております。お手元の次第資料の裏面に名簿を掲載しております。ここで委員の皆様からお 1 人ずつご紹介をいただきたいと思います。

なお名簿の備考欄の記載は湖西市子ども・子育て会議条例で指定された委員の委嘱区分になります。では、湖西保育士会の杉江様から時計回りにお願いしたいと思います。

よろしく申し上げます。

(杉江委員)

皆様こんにちは。

湖西市保育士会の会長をやらせていただいております真愛保育園の杉江と申します。

今日はよろしくお願いいたします。

(木村委員)

皆様こんにちは。

P T A 連絡協議会の会長をさせていただきます木村弘太です。よろしく申し上げます。

(河合委員)

こんにちは。

私はプライムアースE Vエナジー人事室に所属しております河合と申します。
弊社の事業所内保育所と、障害をお持ちの方を雇用する特例子会社のエルスマイルという会社の運営支援を担当しております。
よろしくお願いいたします。

(谷中委員)

皆さんこんにちは。

湖西地区で労働者福祉協議会副会長の方を仰せつかっております谷中と申します。

ユニバンス労組の方では執行委員長の方を仰せつかっておりますので、今日初めての参加となりますのでよろしくお願いいたします。

(石田委員)

皆様こんにちは。

今回公募で文章を書かせていただいております石田祐子と申します。小学2年生とあと上に中学3年生の息子を持つ保護者として、いろいろな意見をお聞きしたり自分の方から提案したりということができたらいいなと思って今回参加させていただきました。
よろしくお願いいたします。

(榊原委員)

皆さんこんにちは。同じく広報委員で今回参加させていただきます榊原といいます。私も働く母として、意見を広く聞いたり言ったりできたらと思いますのでよろしくお願いいたします。

(大田委員)

こんにちは。

湖西市シルバー人材センターの大田と申します。新居で放課後児童クラブを二つ運営させていただいております。よろしくお願いいたします。

(柴田委員)

皆さんこんにちは。

常葉大学の柴田と言います。よろしくお願いいたします。

(事務局 長田)

ありがとうございました。

なお湖西市校長会の藤井委員は本日所用のため、公募委員の柴田陽加委員は体調不良のため欠席でございますが、柴田委員から、皆様にご挨拶のメッセージをお預かりしておりますのでご紹介をさせていただきます。

新居関所目の前にあります歯科天陽堂 1 階にて、私立の子育て支援施設、OHANA PARK を運営しております柴田陽加です。

本日の参加に皆様にお会いできることをとても楽しみにしておりましたが、こどもからインフルエンザをもらってしまい、やむを得ず欠席とさせていただきました。大変申し訳ございません。

私は 2020 年に東京から湖西市へ移住してまいりました。現在、5 歳、3 歳、0 歳 3 か月の 3 人の子育て真っ只中であります。

職場の OHANA PARK では日々、0 歳児から小学校低学年くらいまでの親子と触れ合う中で、様々な話や意見を耳にしております。また、湖西市外からの訪問もとても多い現状があるため、近隣市を含め、子育て環境で不足している部分について、ご意見をお伝えすることができるかと思っております。次回以降の会議でぜひ有益な意見交換ができれば幸いです。

本日は急な欠席を大変申し訳ございませんでした。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

以上でございます。

委員の皆様におかれましては、今年度より 3 年間の任期をお願いしているところでございます。どうかよろしくお願いいたします。

本日の会議は湖西市子ども・子育て会議運営要領に基づき、公開とさせていただいております。本日傍聴される方がいらっしゃいますので報告させていただきます。傍聴される方につきましては、傍聴受付でご確認いただきました会議運営要領第 5 条に基づく注意事項を守って傍聴いただきますようご協力ご協力をお願いいたします。

続きまして、本日の会議の成立について報告させていただきます。全委員 10 名のうち、本日 8 名の委員のご出席をいただき、過半数の出席を得ておりますので、本会議条例第 5 条第 2 項により、本会議が成立していることを報告させていただきます。

それでは次第の 3、議題に入らせていただきます。議題（1）、会長および副会長の選任につきまして事務局より説明をお願いします。

(事務局 尾崎)

事務局こども政策課の尾崎と申します。よろしくお願い致します。

今年度の委員の改選に伴いまして、会長および副会長を選任したいと思います湖西市の子ども・子育て会議条例第4条第2項により会長および副会長は委員の互選によると定められております。

会長1名、副会長1名を互選により選出したいと思います。推薦、立候補などをされる方はいらっしゃいますでしょうか。

なければ事務局の方から推薦をさせていただきたいと思いますがいかがでしょうか。

よろしいでしょうか。ありがとうございます。それでは事務局から推薦させていただきます。

会長には、児童福祉や臨床心理学、子育て支援を専門分野として大学で研究を進められ、他の自治体でのこども関連委員のご経験もある常葉大学の柴田俊一様。副会長には市内の幼稚園保育園で構成される湖西保育士会代表として当会議にご参加いただいている真愛保育園の杉江玲子様を推薦させていただきたいと思っております。

説明は以上です。

(事務局 長田)

ただいま事務局より会長副会長の推薦がありました。

湖西市子ども・子育て会議条例第5条3項により、議事は過半数で決すると挙手締結をとりたいと思っております。

会長副会長の選任につきまして、承認される方は挙手をお願いします。

<挙手全員>

ありがとうございました。

それでは会長を柴田委員、副会長を杉江委員にお願いいたします。申し訳ございませんが会長副会長は席のご移動をお願いいたします。

それでは柴田会長と杉江副会長よりそれぞれ一言ご挨拶をいただきたいと思います。会長、副会長の順にお願いいたします。

(柴田会長)

改めまして会長をさせていただきます、柴田と申しますよろしくお願い致します。

湖西市の構想に関わらせていただいております。今回も子ども・子育ての計画の策定の委員会であるわけですが、浜松市の職員として心理の仕事をし

てきました。その中で事務の仕事を最初にやったのが国のエンゼルプランの仕事でした今からもう 30 年以上前です。

エンゼルプランが始まったのは 1.57 ショックと言われる合計特殊出生率が 1.57 を下回ったので、国全体として少子化対策を策定しなければならないということで始まったわけです。

その当時からそれに引き続く計画が次々に策定されて、今日の会議に至ってるわけですが、残念ながら少子化対策だけで言えば成功していなくて、人口は減り続けていて、出生数は今年度多分 80 万切るんですね。もう切ったのかな。ひと頃、出生 200 万人を超えていた時代を考えると本当に寂しくなってきました。

ここ 1 年、特にバスの運転手さんとかタクシーの乗務員の方が足りないということで、そういうところにも社会のインフラに影響が出始めているのが現状ではございます。

とは言うものの子ども・子育て支援計画そのものは少子化対策のみを目指しているわけではございませんので、子育てしやすいまち、こどもが幸せに育つことができる環境を用意するということに大きな意味があると思っています。

その意味で今回もこの策定の見直しと次の計画についての委員会であることは継続かと思いますので、また皆様のご協力をお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

(杉江副会長)

はい、副会長に任命いただきました真愛保育園の杉江と申します。よろしくお願いいたします。

私は保育園で保育士としてこども達と携わってはいるんですが、なかなかやっぱり子育ての中でも大変なところもあり、この会議の中で子育て、こども達にとっても子育てをしている保護者にとっても、より良い住みやすい湖西市になるような意見がたくさん出るといいなと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

(事務局 長田)

ありがとうございました。

お2人ともどうぞよろしくお願いいたします。ではここから会議の進行を会長をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

(柴田会長)

次第に沿いまして、議題を進めていきたいと思っています。

議事の中で議題の（２）子ども・子育て支援事業計画の実施状況について、まず計画の掲載が法律で義務づけられています必須記載項目から進捗状況の確認をいたします。

それでは教育保育提供体制について、所管である幼児教育課からご説明をお願いいたします。

（幼児教育課 水野）

半分折になっている湖西市子ども・子育て支援事業計画必須項目調査票をご覧ください。

最初に、用語の説明として、表の一番左区分欄で、1号認定、2号認定、3号認定、その右側数値区分欄1の上、に、過去の内容等の文言がありますので、簡単に説明します。

まず、「区分」について、

- 1号認定とは、3・4・5歳児のこどもで幼稚園とこども園の幼稚園部、
- 2号認定とは、3・4・5歳児のこどもで保育園とこども園の保育部、
- 3号認定とは、3歳児未満のこどもで、保育園とこども園の保育部となります。

次に、「数値区分」について、

- ①量の見込みとは、幼稚園、保育園、こども園へ入園を希望するこどもの推計人数、
- ②確保の内容とは、市内の教育・保育施設で受け入れができる人数、すなわち定員、
- ③需要量とは、年度末現在の在園児数に入所待ちとなっている申込者数を加えた数、
- ④提供量とは、年度末現在の利用定員数を指しています。

令和4年度の状況について説明します。

令和4年度の1号認定について、左列計画値の564は、量の見込みです。これは、保育園、幼稚園、こども園に在園している人数及び入所待ち児童数から算定し計画値としています。その下の1,147は、確保の内容になります。計画策定時の受入定員を基本とし当時の教育・保育施設の整備計画を基に、1,147人と計画値を掲げています。中列の実績の529人は需要量、978人は提供量となります。

2号認定については、548人の量の見込みに対し、654人の確保量(利用定員)を計画していました。4年度実績については、636人の需要量に対し、664人の利用定員が提供されましたので、28人分の保育環境に余裕があったこととなります。

3号認定については、0歳と1・2歳に分けております。左側数値、区分欄に「特定教育・保育施設」とありますが、これは、保育園・こども園を指していま

す。「特定地域型保育事業」とは、小規模保育事業、事業所内保育事業等を指しています。4年度の実績欄、0歳については、105人の量の見込みに対し確保の内容として115人の受入を計画していましたが、158人の需要量に対し92人の提供量でしたので66人分の保育環境が不足したという状況です。また、1歳、2歳は363人の量の見込みに対し確保の内容366人分の受入を計画していましたが、371人の需要量に対し302人の提供量でしたので、69人分の保育環境が不足したという状況です。

「自己評価」については、Cとします。

確保の内容が不足しているのは、全国的な問題ではありますが、湖西市では国の定める基準により、定員の120%までの受け入れを可能とする方針に基づき、民間園を中心に弾力的な定員運用により面積基準・配置基準の範囲内で定員を超えた園児の受入を行っています。

「事業実施にあたっての課題、今後の展望」については、令和4年4月1日に希望の杜保育園とヒーローズこさい保育園が開園されたことから1号認定・2号認定は十分に提供量を確保することができましたが、3号認定につきましては提供量が需要量に満たないため、定員の見直し等による量の確保に向けて検討が必要であると考えています。

(柴田会長)

ありがとうございました。

ただいまの説明にありましたように教育保育の実施状況について、事前の質問をいただいております。幼児教育課から質問に対してのご回答をお願いします。

(幼児教育課 水野)

教育保育の量の見込みのところで、保育の必要性の認定、認定区分と提供施設というところで質問をいただいております。

木村委員よりいただいております。内容としては、湖西市子ども・子育て支援事業計画のP47ページをご覧ください。47ページの中ほどに表があります。

表の2号認定案にある、教育のニーズありなしの「教育のニーズ」とは何を指しているのでしょうか、という質問に対してお答えします。

2号認定を受けて幼稚園へ通うお子さんのことで、保育の必要性の認定を受けて、幼稚園へ在籍するお子さんを分類上「教育のニーズ」ということで設定をさせていただいています。

教育のニーズなしという方は、純粹に保育園を申し込まれている方ということになります。以上です。

(柴田会長)

はい、ありがとうございました。

ご質問を出していただきました木村委員今の説明でよろしかったでしょうか。

(木村委員)

はい、ありがとうございました。

(幼児教育課 水野)

続けて言わせていただきます。

もう1個ですけれども一時預かり事業というところでの質問をいただいています。同じく木村委員からいただいています。

指摘内容としては、一時預かり事業を公立幼稚園で実施とありますが、なぜ知波田幼稚園は対象外でしょうかということで、回答としましては、一時預かりの実施なんですけれども、裏面を見ていただくと、一時預かり事業というところで真ん中のあたりに在園児対象型というところがあります。

見込みとしての実績値は微増ではありますがありますけれども、令和3年度、4年度を見ていただくと、全体的に利用者が減っているという傾向であります。また今年度、知波田幼稚園では3歳児の入園が1人もありませんでしたが、園児数、利用希望者数の増加が見込める場合には、検討していきたいと思っております。以上です。

(柴田会長)

はい、木村委員一時預かりについてもよろしかったですか。

(木村委員)

説明ありがとうございました。私、知波田幼稚園のPTA会長をしまして、知波田幼稚園に偏っているとみられるところもあるかもしれませんが、今年度の3歳児に実は私の2人目のこどもが含まれておりまして、入園数が3名ほどということになっていましたので、ちょっと3名では本当に少ないかなというところで他園の方に通っているんですけども、見込みが増えれば対応するというのは、知波田幼稚園は正直人数が減っていく傾向にありますので、今後は知波田幼稚園に見込みがないという風に正直聞こえてしまうところもありますので、知波田幼稚園の中でも保護者の方から聞いた中では、一時預かりをやってくれば知波田幼稚園に通ってもよかったのにな、というような言葉を少し聞いたこともあるもんですから、ちょっとここで幼稚園を切り離してしまいますと、ますます少子化のあおりを受けて知波田幼稚園が廃園へと加速してしまうんじゃない

ないかなというふうに感じてますので、需要と供給のバランスもあるかとは思いますが、今一度知波田幼稚園など人数が減りつつある幼稚園も幅広い意味でカバーしていただければいいなと感じております。以上です。

(柴田会長)

この場ではすぐ決められないこともあると思いますが、何か、今のことについてご回答ありますでしょうか。

(幼児教育課 水野)

そうですね、本当に園児数と利用者数の推移とか、そういったところを十分に見込んで検討していきたいということで回答させていただきます。

(柴田会長)

はい、ありがとうございました。

それでは要するに保育園幼稚園等に入りたい人と行政側が準備している数のバランスがどうかという数字の問題で細かい数字がたくさんありましたのでちょっとわかりづらいところがあったかと思いますが、要するに入りたい、入りたいという人とニーズは定員上 120%まで入る中でおおよそかなり来ているので、あぶれちゃってどこにも行くところがない方はいなかったということによろしいかと思いますが、他の委員の方何かご質問ある方いらっしゃいますか。

よろしいでしょうか。

では進めさせていただいて、後でまた何かあったらお願いいたします。

では次に参ります。

地域子ども・子育て支援事業の供給体制、提供体制についてです。

こちら事業がいくつかの所管にわかれていますので、本日は担当部署ごとに出席を求めていますので、こども未来課、幼児教育課、教育総務課の順にそれぞれの実施状況のご説明をお願いします。

なお質疑については一通り全部の説明が終わった後にまとめて時間をとりますのでその時をお願いいたします。

それではこども未来課から順にお願いします。

(こども未来課 野原)

お願いします、こども未来課です。

それではまず、ファミリーサポートセンター事業の方からご説明させていただきます。

ファミリーサポートセンター事業をいくつかやっているんですけれども、病児緊急対応強化事業を除くというところについてです。

ファミサポ事業は、委託会員という「育児に困っている人」と、受託会員という「育児の手助けをしてくれる人」との相互援助活動に関する連絡、調整等を行うことにより、地域における育児の相互援助活動を推進するものになります。本年度は、育児に困っている委託会員に対して、育児の手助けをしてくれる受託会員がどれだけ支援できたかということですが、支援が必要な人数の計画値 700 人に対し実績を 734 人と見込んでおり、自己評価を A としております。引き続き事業の周知を図り、利用者のニーズに応じた支援につながるよう努めてまいります。

なお、資料の課題の部分に「提供会員の増員」と記載してありますが、育児の手助けをしてくれる受託委員と提供会員の用語は同義ですのでご了承ください。

次に、ファミサポ事業の病児緊急対応強化事業についてです。

この事業は、こどもが急な病気となった場合などの保育に関する事業ですが、受託会員の確保が大きな課題です。本市では病気後で主治医から預けても大丈夫と言われたお子さんで、なおかつ受託会員が了承してくれたケースのみを実施可能としていますが、このようなケースの依頼は緊急に入ることが多くほとんどお断りをしていることから未実施となっております。

次に、ファミサポ事業就学児についてです。

本年度は、支援が必要な人の数の計画値 121 人に対し、実績値 533 人と前年度並を見込んでおります。内容としましては学童の塾の送迎等の利用が増加しています。計画値を上回っていることから、自己評価を A としておりますが、引き続き受託会員数を増やし、事業の充実を図れるよう努めてまいります。

次に、ショートステイ事業についてです。

この事業は、児童の養育が一時的に困難となった場合などに、宿泊を伴う養育を行うものです。

本市では令和 5 年度より複数の市外の施設と委託契約はできましたが受け皿は十分とは言えませんので、今後里親への委託も検討を進めたいと考えております。

次に、地域子育て支援拠点事業についてです。

この事業は、地域の身近な場所で、子育て中の親子の交流や育児相談などを実施するもので、子育て支援センター「のびりん」を、地域子育て支援拠点としております。

本年度は、確保の内容の計画値 21,426 人に対し実績値は 26,758 人と見込んでおり、自己評価を A としております。引き続き館内事業の充実や広報の活用を図ると同時に、令和 6 年度中に、第 2 の地域子育て支援拠点として、旧新所幼

稚園の跡地への設置を進めているところですので、そちらも併せてますます利用の促進に努めてまいります。

次に、利用者支援事業についてです。

この事業は、保育園、幼稚園などの施設や地域の子育て支援事業の情報を集約し、利用にあたっての相談に応じたり情報提供や助言をしたりするとともに、関係機関との連絡調整を行うものです。

引き続き事業の周知を図るとともに、子育てに関する情報集約と関係機関との連携に努めてまいります。

次に、乳児家庭全戸訪問事業についてです。

この事業は、「こんにちは赤ちゃん」として、生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、子育てに関する情報提供や養育環境等の把握を行う事業です。計画値に対して実績が同数でないのは、実際の乳児の出生数が計画と変わるためで、必要な訪問はすべて実施できております。

次に、養育支援訪問事業についてです。

この事業は、養育が特に必要な家庭に対し、子育てについての知識や経験のある支援者が訪問し、養育に関する指導や助言などを行うことにより、その家庭の適切な養育の実施を確保するものです。

本年度の計画値は5人に対し実績値は1人と見込んでおります。今後の課題としまして、養育支援を行う支援者の確保とともに、利用しやすい事業の仕組みづくりに努めてまいりたいと考えております。

最後に、妊婦健診についてです。

この事業は、安全・安心な分娩や出産、妊婦の経済的負担の軽減のため、公費負担の受診票を交付し、医療機関等への受診を勧奨するものです。

対象となる妊婦の数の推移により実績値は減少しておりますが、受診券を交付した妊婦が受診できていることを引き続き管理し、受診できていない方については受診勧奨をしていきたいと考えております。

以上になります。

(柴田会長)

では続きまして幼児教育課お願いいたします。

(幼児教育課 水野)

まず、延長保育事業です。

令和4年度計画値は、量の見込み378人に対し、確保の内容450人分でした。実績値は179人の需要量に対し、450人の提供量でしたので確保環境として充足していますので「自己評価」については、Aとしています。

次に、一時預かり事業、在園児対象型です。

これは、在籍する幼稚園において教育時間終了後に実施する一時預かりです。

令和4年度計画値は、量の見込み7,621人に対し、確保の内容10,000人分でした。実績値は6,966人の需要量に対し、10,000人の提供量でしたので確保環境としては充足していますので「自己評価」については、Aとしています。

在園児対象型の一時預かりは、令和4年度は、鷺津幼、白須賀幼、岡崎幼、新居幼、しらゆりこども園の2幼稚園3こども園で実施しました。今後も教育時間終了後以外にも、公立幼稚園全園を対象とした夏休み等の長期休園日における一時預かりを継続して行い、利用者のニーズに対応できるよう実施していきます。

次に、一時預かり事業（在園児対象型を除く）です。

これは、家庭で保育を受けることが一時的に困難になった乳幼児をこども園等で一時的に預かる事業です。公立園で在園児対象型を除く一時預かりは、令和4年度は、鷺津保、岡崎幼、新居幼の1保育園2こども園で実施しました。今後も継続して行い、利用者のニーズに対応できるよう実施していきます。

病児保育事業です。

現在、提供体制の確保が見込めないため、計画の設定は行っていません。事業実施を検討している民間事業者があれば相談に応じますが、病院との連携や在園児以外の受け入れ体制に対しては現在のところ検討には至っていない状況です。

最後に資料にありませんが、一つ報告をさせていただきます。

既に新聞報道等でもご承知のことと思いますが、湖西市立白須賀幼稚園について、今年度末をもって、閉園いたしますことについて、ご報告します。

白須賀幼稚園は、昭和32年4月に湖西町立の幼稚園として設立し、昭和49年に現在地へ新築移転しました。平成22年には園舎を改築しており、築13年とまだまだ新しい園舎ではありますが、同学区内の児童数の減少や、民間保育所である真愛保育園が令和6年4月に幼保連携型認定こども園へ移行し、幼稚園部が新規に設置される見込みであることなどから、関係者との調整を行ってきました。現在、白須賀幼稚園に在籍するすべての3・4歳児の保護者から転園のご同意をいただきましたことから、令和6年3月31日をもって閉園することとなりました。

以上ご報告いたします。

(柴田会長)

はいありがとうございます。続いて教育総務課からお願いします。

(教育総務課 仲本)

教育総務課です。

表の一番上、放課後児童健全育成事業いわゆる放課後児童クラブの関係についてご説明いたします。

この事業につきましては、就労等のため、昼間に保護者がいない家庭の小学生を預かり、放課後の居場所を提供する事業です。様々な学年の友達と一緒に、遊びを通じて充実した放課後を過ごせるよう、現在は市内の 12 か所 16 単位で実施しています。そのうち 7 単位のクラブについては、地域の小学校内で実施しています。

令和 4 年度につきましては、鷺津小学校区にて、新たに児童クラブが 1 単位増加しました。それにより、鷺津地区での定員数が増加し、市としての確保の数値は、計画値 544 より実績値 563 が上回りました。提供量 563 についても、実績値 548 が収まっていることから、評価としては A 評価とさせて頂きました。

令和 5 年度につきましては、岡崎小学校の中にある放課後児童クラブが、今までも専用施設で実施をしていましたが、定員の適正化と受入人数の増加のために、専用施設を建設し、1 単位から 3 単位へと増加しました。また、鷺津小学校区では、新たに児童クラブが 1 単位増加しました。

今後の展望と致しましては、大規模校区における待機児童の解消と定員の適正化のために、専用施設の整備、小学校余裕教室の活用等を進めています。新居小学校については、令和 6 年 4 月から、子育て支援センターから学校内の専用施設へと移設します。これからも、働く保護者が安心して児童を預けられる環境を整えていきます。

以上です。

(柴田会長)

はい、ありがとうございました。

ではここまでの数値目標の達成度等の話で数字がたくさん並びましたけれども、事業ごとにご紹介いただきました。何かご質問ご意見等ありますでしょうか。

(榊原委員)

病児保育事業について質問です。

量の見込みや需要量っていうのが、数字があるのに対して、ずっと未実施のままっていうのが、どうしてなのでしょう。

保育園とかそういった園の方で個別に病児に対して保育をしようっていうとちょっと難しいのかなと思うんですけど、例えば病院で病児保育をやるとか、そういった別枠で検討するだといったことも需要があるんだったらやってほし

いなくなっていうふうに私は思います。

実際働いていてこどもが病気になってしまうと、仕事を休むことになってしまうので、こういったところが充実していくと、さらに女性、お母さんが働きやすくなっていくのかなと思います。

(柴田会長)

はい、ありがとうございました。

病児保育について確かに需要がある可能性が高いので未実施なのはどういうことでしょうかということですが、担当課、お願いいたします。

(幼児教育課 古畑)

幼児教育課の古畑です。

病児保育事業ですが、確かに計画の策定当初から需要が一定数見込めるという中で、提供量はゼロということで計画のときからしていました。

実態としては、病児保育事業を実施しようと思うと、先ほど委員が言われていた通り医師との連携、看護師との連携だとか、専用施設を用意しなきゃいけないというところが大きなハードルになってくるっていう問題があります。

例えば保育園こども園と併設するにしても、入り口からこどもを預かるスペースまで全て別に分けなければいけないということになるので、なかなか既存の施設でやる場合も新たな増築だとか改築が必ず必要になってくるということで、やりたいという事業者さんがいた場合には相談させていただくということだったんですが、今後もそういう事業者さんが現れたら相談していきたいなというふうには思っています。

どこかの医療機関と連携して医療機関のすぐそばに設置するというのが理想的かなとは思いますが、今、まだその段階ではちょっと検討段階ということで、調整がついていないということで、未実施ということにしています。

湖西市としても需要がある以上検討はしていかなければならないというふうには思っていますので、引き続き調整を続けていきたいと思っています。

以上です。

(榊原委員)

ありがとうございます。

ぜひ導入を前向きに検討していただけたらなという風に思います。ありがとうございます。

(柴田会長)

ありがとうございました。

今のご説明の中で、やりたいという事業者さんがいれば検討するというのではなかなか前に進まないかなと思いますので、行政として必要だからどこかに用意をする、用意を行政側から主導で進んでいただければありがたいなというふうに考えます。

他、ご質問等ございますでしょうか。

どうぞ。

(谷中委員)

湖西地区労働者福祉協議会の谷中と申します。

一時預かり事業のところ、ご質問をちょっとさせていただきたいんですけど、白須賀幼稚園の方が廃園になるというところで、私事ですけど自分のこどもも3人いまして、2人は白須賀幼稚園のほうに通っていて自分もPTA会長も務めたところで、非常に寂しいなという感覚がございますけど、人数の方も減っているというところで仕方がないのかなというところは感じておりますが、白須賀幼稚園が廃園になることによって、この一時預かり事業にどのように影響してくるのかというところと、あとこの趣旨とはずれてしまうかもしれないんですが、白須賀幼稚園も築13年と先ほど言われていたんですけど、結構新しい建物でもありますし、このあと何か利用の計画とかというところがもしあるのであればお聞かせいただきたいなということで質問させていただきたいと思います。

(柴田会長)

よろしくお願いします。幼児教育課でしょうか教育総務課でしょうか。

(幼児教育課 古畑)

それでは幼児教育課から回答させていただきます。

まず一時預かり事業ですが、幼稚園型の一時預かりということで、必須項目調査表でいうと上から三つ目の在園児対象型のことだと思います。

白須賀幼稚園はなくなりますので、計画はこうなっていますけども、実績の中では、提供量が減ってくるというふうに思っています。

それと白須賀幼稚園の閉園後の建物の利用ということなんですが、現在調整中です。

まずは庁内での利用を調整しているという段階ですので、いつ、どんな形でというのが今の段階ではご提示できないですが、有効に活用できる方法を模索し

ておりますので、またご報告できる段階になりましたら、皆さん方に報告したいと思っています。以上です。

(柴田会長)

よろしいでしょうか。

(谷中委員)

ありがとうございます。

(柴田会長)

ここまでで他にご質問等ございますか。

はい、お願いします。

(石田委員)

お願いになると思うんですけど、少しあの広報をもうちょっと。一時預かり事業とかお母さんたちは使いたいと思っけていても、どうやって使ったらいいのか、後から他のお母さんから聞いて、あのとき使えばよかったって思ったりということがとてもあるんですね。

私も下の娘のとき保育園で、すぐに1年で仕事に復帰したかったんですけど、復帰はしましたが保育園にやっぱり入れなくて、そのときに保育園の先生から一時預かりっていうのがあるよ、どうする？っていう形でお話をお聞きしたということもあったので、産む段階でもいいですし、保育園を応募するときでもいいですし、もう少しわかりやすい資料で、字がいっぱいある資料ではなくて、忙しいお母さんたちが必要なことが見られるような資料をご用意していただいて、広報をもう少ししていただけると、十分に今提供数のプラスになってるところもあると思いますが、もちろんマイナスになってる不足の部分も一時預かりでフォローできる部分がもっと出てくるんじゃないかというのが今子育てしている段階でとても思っていることなんです。

なので、湖西市さんいいこともたくさんやられていると思うので、もう少しお母さんたちやこどもに寄り添った形で広報をしていただけると、皆さんの利用がもっと活発になってもっとお母さんたちがいろいろなことを話してくれて、もっとこれが良かったよって言ってくれるようになると、こどもももっと生まれることになるだろうし、未来に繋がっていくと思うので、親からの願いとしては、広報をもっと充実させていただければと思います。

すいません以上です。

(柴田会長)

はいありがとうございました。

子育て支援関係の情報の広報についてですが、ご回答いただけるところございますか。

(幼児教育課 水野)

幼児教育課です。やはり広報は大事で、説明しながら皆さんに使いやすいように広げていきたいと思っています。ありがとうございます。

(柴田会長)

いわゆる広報誌等でも載るでしょうけど、インターネット上の広報、ホームページ上はどうなっていますか。

(幼児教育課 古畑)

一時預かり事業の幼稚園型と一般型、表で言うと上の在園児対象型というのが幼稚園型になりますが、幼稚園型については在園児のお子さんが対象になりますので、入園してから公立の園であれば園だよりのなかでいつまでに申し込みしてくださいね、こういうことですよというようなお知らせをしているかと思います。

下の方の「一時預かり事業（在園児対象型を除く）」という方がいわゆる保育園型です。

在園していないお子さんが保育園こども園で利用する一時預かりということですが、こちらは当市の公式ウェブサイトの方で掲載していますが、幼児教育課の窓口でもチラシを配布させていただいています。

利用したい保育園やこども園、幼稚園いずれでも大丈夫なんですけど、子育て相談という形で、いろんな利用の形態だとか使い方についてご相談いただければいろんなご案内ができるかなと思いますので、うまく園の先生に相談していただいて、利用していただいて情報を入れてもらうというのも大事なかなと思います。

ウェブサイトの掲載も決して十分ではないと思いますので、わかりやすい形態、見やすいウェブサイトの構築というのをこれからも検討したいと思います。

以上です。

(柴田会長)

はい、ありがとうございました。他にご質問、ご意見ございますか。

では次に進めます。

任意記載事項という部分があります。ここは法定で記載が義務付けられていることではないんですけれども、行動計画として今後の市の指針を掲載したものですので、この部分について、会議に先立ちまして事前に質問をいただいておりますので、事前説明資料の上から順に担当課にご説明をお願いいたします。

(幼児教育課 水野)

柴田委員より「保育園の相談件数は令和 5 年で 900 件となっていますが、この数字は同じ親がしている現状ですか、相談件数は同じ人物が何度もだと単純に数で評価できないのではないか」という質問です。

計画書 66 ページにありますように方向性の通り、4 項目では、保護者の育児不安の解消のため、子育て相談事業を充実させることを目指しています。

相談は、保護者 1 人につき 1 回だけでなく、同じ内容でも、発達段階等に応じて継続して複数回相談されることもありますし、園以外での相談機関でということもあると思います。

ここでは、県で相談を受ける体制を充実させるという観点から、相談件数の量を指標としており、同一人物からの相談でも、それぞれカウントしています。

なお 900 件は、今年度令和 5 年見込みの数字となります。

続きましてもう一点。木村委員の「公立幼稚園の認定こども園化は何年度から運用開始を目標としていますか」という質問に対しての回答です。

公立園では現在、岡崎幼稚園と新居幼稚園が幼保連携型、認定こども園として運営しています。公立幼稚園については、認定こども園化を検討するとしており、いずれも検討段階であり、具体的な時期は未定です。

保育需要を注視し、時代に合わせ臨機応変に対応してまいります。

以上です。

(柴田会長)

はいありがとうございました。

(木村委員)

すいません木村です。先ほど質問させていただいた部分、認定こども園化が何年後かというところですけど、知波田幼稚園の話になってしまうんですが、来年年少さんが入園予定と聞いているのですぐ廃園というわけではないかとは思いますが、しらゆりこども園がありますので、どうしても近隣のこども達はしらゆり保育園の方に流れていってしまっているのが現状ということで、知波田幼稚園が廃園に向かっているのは間違いないかなというのは肌で感じております。先ほどの白須賀幼稚園のこともありますし、次は知波田幼稚園なのかなとい

うふうに感じております。

認定こども園化というところに対して、知波田幼稚園を今後どうするつもりなのかというのを、近くに住んでいる者としては非常に危惧しておりますので、知波田幼稚園をこども園化するのかしらないのか、その辺についてもちっとお聞かせいただければと思います。

(柴田会長)

お願いします。

(幼児教育課)

知波田幼稚園についてということですが、公立の幼稚園でいえば鷺津幼稚園と、今、公立の幼稚園としてはこの2園があります。

白須賀幼稚園は今年度末で閉園ということになりますので、2園とも認定こども園化の検討はしているというのが現状ではありますが、知波田幼稚園をこども園化する具体的な年度とかは未定ではあるんですが、どれだけの需要が見込めるか。入るお子さん、それから保育園のニーズ、幼稚園のニーズっていうのを正しく正確に分析して行って、臨機応変にこども園化を計画するということであるので、具体的に今この場でお示しすると「検討していく」ということになります。以上です。

(柴田会長)

木村委員、よろしいでしょうか。

なかなか計画的にはどこまでにできるとか言える段階ではないということですね。ありがとうございました。

事前質疑、もう一つ医療体制についてあるかと思いますがお願いします。

(こども政策課 尾崎)

最後の柴田委員からのご質問になりますけれども、こちらは計画の77ページ「夜間・休日における小児医療機関の情報提供の充実」というところだと思いますけれども、「湖西病院の救急体制はとても弱いと思いますが、医療センターや医大、豊橋への搬送も可能ですか」というご質問をいただいております。こちらは消防署だったり湖西病院が担当になりますけれども、そちらに確認した内容をお答えさせていただきます。

救急車による搬送についてはその症状やかかりつけ医などの状況を救急隊員の方が総合的に判断して、市外の病院へ搬送することも実際あるということでございます。

それから湖西病院についてですけれども、夜間に必ず小児科医が常駐しているわけではないということです、個人で夜間救急の受診を希望する場合にも、状況により湖西病院の方から他の病院を紹介するということもあるということでお答えをさせていただきます。

以上です。

(柴田会長)

ありがとうございました。

では事前の質疑事項は以上ですけれど、他に何か気になるところございますか。よろしいでしょうか。はい、どうぞ。

(榊原委員)

木村委員にちょっと関連してなんですけれど、検討します検討しますっていうことなんです、必須項目調査の方で2号3号の保育園に対するニーズっていうのは、明らかに不足しているのがわかると思います。

これに対して検討、検討だと、いつまで検討するのか。なので具体的に、検討するのであればいつまでに検討します、で、その結果をもとにどういう計画をしていくっていうのを具体的に示してほしいなと思います。

(柴田会長)

はい、計画書を作るってそういうことだと思いますけど、いかがでしょうか。行政側としては。

(幼児教育課 古畑)

必須項目調査票の教育保育の量の見込みのところ、委員が言われている通りですが、1号認定2号認定の3、4、5歳児の枠っていうのは充足している、そこまで不足していない。4年度までは100%を超えていますので、充足はしているという状態です。

5年度の見込みが2号認定でどうなるかというのは、ほぼ確保の内容、提供量どおりの需要を見込めるかなというふうには考えています。

問題なのはご指摘の通り0歳児1歳児2歳児かなというふうに思います。この需要をどういうふうに提供していくか、確保していくかというのは非常に大きな問題だと思います。

幼稚園のこども園化を考えると、今どこの幼稚園もそうなのですが、3、4、5歳の3年保育を実施しています。

単純に考えれば3、4、5歳のみのこども園ということであれば、こども園化

の意向を届け出れば、そういうふうにできるかなとは思いますが、求めているのはそこではない。0、1、2歳の需要をどうするかということになると思います。0、1、2歳の保育部をつくるということになると、まず施設要件を満たさなければならぬというのが一番大きい。例えば知波田幼稚園で言えば、3クラスしかありませんが、0、1、2歳の部屋を増築、改築、新築いずれかの方法で作らなければならぬというのが大きなハードルです。

給食設備を作らなければならぬというのもひとつの大きな問題です。特に0歳のお子さんは離乳食だとか、水分量の多い給食の提供が必要になります。外部で作った給食を搬入しての提供というのが法令上認められていませんので、必ず給食設備を作らなければならぬ事になりますが、今は鷺津幼稚園、知波田幼稚園ともに給食設備はありません。外部からの給食にしていますので、その設備を増築新築しなくては行けないというのはとても大きなハードルの一つです。保育室についてもそうです。

今建物は3歳以上のお子さんが使うという前提で建築されていますが、0歳1歳2歳のお子さんが入る施設というのは建築基準の関係で、いろんな部分、例えば空気ダクトだとか水道の高さ、トイレだとか、いろんなところの設備面の改修というのが必要になってきます。

いずれにしても不足しているというのは重々承知ですが、では来年、半年後からスタートできるかというとなかなかそういうわけにはいかないもので、次の計画です。今、令和6年度までの計画が示されていますが、令和6年度の予算編成を行っているところですが、そこに新たな設備の投資計画というのがなかなか組み込めないということで、次期計画には何らかの形で0、1、2歳の定員を確保する計画を盛り込んでいきたいなというふうには考えていますが、それが公立の幼稚園こども園化という形で提示できるかと言うと……。また実際に0、1、2歳の定員の設定をどの地域にどういったかたちでするかというのは十分検討していかなければならない事項だと考えているので、今現状ここでは「未定です」というお答えになってしまうんですが、必要性については十分承知はしているところです。

情報収集、ニーズの正しい把握に努めて検討していきたいというふうに思っています。

(榊原委員)

ありがとうございます。ちょっとそういった難しさとかが、私素人なので見えてなかったっていう部分がいろいろ教えていただいて、理解できたので、ありがとうございました。

(柴田会長)

今日のような委員会があるのも、予算要求の段階で市民を代表する委員会からこういう意見が上がってきてるので、というのを重々反映させていただいて、テコにさせていただけるとありがたいなというふうに思います。

よろしくお願いします。

では他に任意事項について何かご質問、御意見、よろしいですか。

それでは議題の2の審議を終了したいと思います。

続いてこの件の採決に入ります。

市から提示があった本年度の実績を含め数値令和6年度以降の事業展開について承認をしても良いという考えの方は挙手をお願いします。

よろしいですか。全員挙手いただきましたので過半数と認めます。よって議題(2)は承認をされました。市におかれましては引き続き計画に基づいて事業を進捗していただくようお願いいたします。

では本日の議題については審議これで終了いたします。

せっかく委員の皆様、貴重な時間を割いて集まっておられますので、ここでの皆様からご発言をいただきまして、本日の議題に関すること、市のこども事業全般に関すること、こどもに関する世間での動向に気になること、ご自身の事業や身の回りでの子ども・子育てに関する動向など何でも結構ですので、意見交換をさせていただきたいと思います。

強制的で恐縮ですが、また杉江委員から時計回りで、お1人5分以内ぐらいで何らかのご発言いただけたらと思います。よろしくお願いいたします。

(杉江副会長)

委員の皆様、市役所の方々、ありがとうございます。

今お話を聞いていてやっぱり0、1、2歳児。うちの園でもそうなんですが、やっぱり定員になってしまうとなかなか入れないところがあって、子育てをされているご家庭にはちょっと大変な思いをさせているところがあるんだなというところが、ちょっと実感で感じました。

また、先ほどお話がありましたように、白須賀幼稚園が廃園になりうちの今の真愛保育園が令和6年4月からこども園化になり、1号さんの運営も可能になってきます。うちでも子育て家庭のニーズに応えていければなと思っておりますので、職員一同頑張っていきたいと思います。

ちょっと気になったところが、湖西病院で夜間に小児科医の先生が必ず常駐しているわけではないということだったんですが、やっぱりこどもっていうのは、夜中に高熱で熱が高く出てしまうということがあるので、できれば湖西病院の方にも小児科が常駐できればいいなと思いました。

なかなか難しい問題ではあると思うんですがちょっと少しずつ解決していけばいいなというところが、思ったところですよ。

今日はどうもありがとうございました。

(木村委員)

ありがとうございました。

市役所の方々の日頃の難しいところなんかを一応運営しながらご対応していただいているというのは本日のこの会議でもって痛感いたしましたので、今後ともご尽力いただければと思います。

私、結婚を機に湖西市に来ましたので、土地勘等も含めましてまた皆様に対して至らないところが多いのかなというところもありますけども、私は知波田地区に住んでるもんですからもう少し住みよいまちになってくれればいいなと感じるところがいくつかあります。

まず一つとしてはやはり先ほどありましたが病院がやはりちょっと少ないというところも感じております。スーパーとかが近くにないということで、どうしても鷺津地区の方まで行かないとといけないというところが非常に不便を感じています。その不便がやはりこどもの減少にも繋がっているのかなというところを感じております。

また知波田地区では、新しく家を持つのがなかなか難しいというふうに聞いておりまして、詳しくないんですが新しく家を構えるのに土地の関係で、簡単に立てられないというような問題を聞いてますので、その問題が解決してくれない限りは人口は減る一方かなと感じておりますので、住みよい町っていうのは行政の方々にご尽力いただいて、今後進めていただければと思います。

本日こどもに関しての会議ですので、湖西市全体で、教育の格差があってはいけないのかなとは感じておりますので、人数が多い少ないに関係なく、同じぐらいのレベルでどこの幼稚園小学校中学校に行っても同じぐらいの勉強ができるっていうのが理想的かなと思っておりますので、今後も湖西市の方々にはご協力いただけたらと思います。

今日はありがとうございました。

(河合委員)

私は企業の代表として来ておりまして、弊社は湖西市の岡崎にございます。今日もいろいろお話を伺っておりまして、例えば特定の地域でこの0歳から2歳さんで量の確保に向けて調整が必要という話がありましたけれども、こういったところで岡崎地区ですね、弊社があるような。そういったところで、もし何か困り事があるようでしたら企業として何か解決できること、手助けができない

か検討していきたいと思っております。

あと、私も小学校の3年生と5年生のこどもがいる母親です。うちの企業は従業員で小学生以下のこどもを持つ者が500名ほどおります。最近その方たちにアンケートをとりまして、子育てをしながら仕事をしていてどういったことで困るかというところで、榊原さんがおっしゃってたやはりこの病児ですね。急な呼び出しですとかお子さんが病気で家で看病しなきゃいけないと、こういったところは困るといった意見をたくさんいただいております。

ただ、病気のこどもの預け先がないことが困るといった一方で、会社に対して、事業者の話と思っておりますけれども、病児保育を望まれてはいないということがわかりました。

これつまるところ企業に求められているのは、お休みがとりたいと。こどもと一緒に過ごせるようにしたいという思いが強いのかなと。

知らないところに病気のこどもを預けるのではなくて、手元でお子さんを見ながら仕事ができる環境を整えて欲しいという思いを持った親御さんが多いのかなというふうに感じております。

ですので、企業としてはいろんな制度をこれからも整えていくというところを考えております。

また皆様からいろんなあのご意見をこの会議の中でも伺いながら、弊社も子育ての一端を担えるように検討を進めていきたいと思っております。

本日はありがとうございました。

(谷中委員)

私は労働者福祉協議会の方から、常に労働者の意見というところで、労働者福祉協議会の方でも行政業務を担当させていただいて、組合員企業の労働組合の各労組の意見なんかを集めている中で、いろいろな不安があるというところは感じているんですけど、その中でも病院の話が先ほどありましたけど産婦人科への不安を抱えている方は非常に多いのかなと。近くにないということで、私なんかも浜松の方で出産の方二人目三人目をさせていただきましても、そういったところの不安を抱えている方が結構声として聞こえてくると感じます。

あと教育のところですね。経済的なところでお金がかかるからこどももあんまり多くは、という方も中にはいらっちゃって、そういったところの経済的な支援なんかも今後の中で検討されて、今、支援の方はあるかと思うんですけど、更に支援を拡大していただければ、よりこどもが減っていく、先ほど白須賀幼稚園の廃園もそうですし、知波田幼稚園さんも今人数が少ないと伺ってますので、こどもがどうしても出産などは経済的なところで考えるとやはり、どんどん少なくなっていく傾向にあるのかなというふうには感じておりますので、ぜひそ

の辺も踏まえて検討いただければというふうに考えておりますので引き続きよろしくをお願いします。

今日はありがとうございました。

(石田委員)

本日はありがとうございました。

とても大変な思いをして決めていろいろなことを決めていただいていることがよくわかりました。

ただちょっと皆さんとは違って本当に子育てする母の狭い視点で私は物事を捉えているというのを反省しつつも、実はこどもが中心になってるのかなってちょっと思うところがいろいろあって。

こども園になるときにうちはちょうど内山の保育園から新居の幼稚園に保育園部として移ったんですけれども、そのときにちょうど4歳児だったもので、皆さんが1年過ごした後に、幼稚園部の人たちが1年過ごした後に、途中から仲間に入るっていう形で4歳児、年中を迎えたんですけれども、今後もし湖西市さんでこども園化をしていくっていうことがあれば、もう少し移行するときにこどもたちの心の重さを考えていただいて、一度期に移行するのではなくて、3歳児のときにみんな一緒に幼稚園児と一緒に保育園児もそちらに移動するっていうようなになれば、一度築かれた人間関係も、友達であつても入っていくのってとっても難しいことで、できれば、これだったら3歳のときに入りたかったねっていう子とか、もしくはそのまま内山に戻ればよかったかなっていうように、皆さん疑問を持ちながら移行したんですね。

その際にやはり希望の園に入るには今の段階で幼稚園に動いてくださいという形で、柔らかく言われましたので、ぜひ今後こども園に移るタイミングは他があれば、2年かけるか3年かけるという移行の仕方も少し考えていただけると、こどもの目線になってこども園化もできるだろうしっていうことをすごく考えています。

いろいろな施設の問題、先ほどもハードルが高いことがいろいろあるっておっしゃってましたけど、もちろんそれもわかった上で、できればこどもたちの心のフォローを何か専門家とは言いませんけれども、タイミングをちょっと考えて移行に移っていただけるっていうことがこども達にとって良いことだったんじゃないかなっていう悩みをやはりどの親御さんも抱えて移動したということがあります。

あともう一つ学童なんですけど、やはり学童に行くに関して、今ちょうど新居に住んでいるので、新居で新しく学童を小学校に作っていて、運動場使えたりしてとっても、こども達は楽しみにしています。

今は他でやっているの、できれば夏休みだけの学童施設にならないかなという気もしています。

それは、今なろっぷさんが多分夏休みだけの学童保育をされていると思うんですけど、やはりそこに入るには、それこそ知らないところに入っていくといけないというのもあるので、通常の日には2時間3時間なら家に居られたり、おばあちゃんおじいちゃんが居られたりっていうことはあると思うんですけど、ぜひ新居に新設する、新しく建てているのであれば、夏休みだけの預かりなんていうのをできるように湖西市さんの方からシルバーさんなり事業者さんの方に働きかけていただけると、非常に過ごしやすいですね。

女の子は4年生になっても3年生になっても、皆さんやはり親としては長い時間家にいるのは不安なことだと思うので、できればその辺を働きかけていただくと、自分の学校区で一緒に思った夏休みを得られるのかなと思いました。

すいませんちょっとすごく視点が狭い形でお話させていただきましたけど、皆さんやはり自分のこどもが大事だとは思いますが、できれば少しこどもの立場に立ってやっていただけると嬉しいかなということがちょっと親として思っています。

以上です。

(榊原委員)

今日はありがとうございました。

いろいろお話聞いてすごい勉強になりました。今回、私、公募で参加しているので、自分ごとの話をもうちょっとさせてもらいますけれど、何が湖西市に住んで困ったかっていうと、私はまず保育園の入園で困りました。

入園申し込みしても3年保留保留で入れなくて、よくよく聞くと最初は未満児で申し込んだので定員も限られていることから難しいのかなっていうのはあるんですけど、年少年中になってからも入れないっていうことが結構ショックで、私自身よくよく窓口の方で相談行くと、自分が希望している保育園は空きがないけれど、他の学区ならあるよ、と。そういうのは聞かないと教えてもらえない。そういったことが、前にもお話ありましたが、欲しい情報が正しく提供されるようになってくるといいのかなっていうのが素直なところです。

あともう1個困るのが病院ですね。私、こどもは男子が2人で、上が小2、下が年中です。元気なので階段から落ちましたとか、本当によくあります。先週も肺炎、というか気管支炎ですけど、なって月曜日に湖西病院行きました。でも、湖西病院は夜こどもが入院できないからっていうことで、浜松医療センターに回されました。

そういった突然のときの対応っていうときに、絶対母親に回ってくるんです

よね。

お父さんはやっぱり仕事が優先なので、どうしても母親にいろいろ回ってきちゃって、会社も働いているけど休まなきゃいけないんで結構苦しいような状況で、いろいろ対応しなきゃいけないっていう状況が多くて、そういったところがもっと今後充実していくといいのかなということで、病児保育とかそういったところもちょうと意見を言わせていただきました。

そういうことでちょっと病院の話っていうのはここは話す場じゃないのかもしれないんですけど、今日子ども・子育てっていう括りで市役所の方も参加されてると思うんですけど、そうじゃなくってそのチーム湖西市で全体でいろいろ連携して協力し合って、いろいろやってくれると益々過ごしやすくなるのかなというのが希望です。

ありがとうございました。

(大田委員)

放課後児童クラブをやらせていただいている者として、先ほども保護者の方から言われたんですけども、夏休みだけの学童をやってほしい、それはもちろんわかっています。

ですが、今シルバー人材センターの会員さんを就労させていただいて、普段は1時2時から6時または7時ぐらいまでやらせていただいているんですけども、会員さんの中でも、子育てというといろんな知識が必要になってきますし、できる会員さんがなかなかいないというのが現状です。

他の施設でも若い方がやっていたいっている方もいるんですけども、時間的なものとかそういうことを考えると難しいというのもあると思います。

会員さんとか他の方にも、やはり保育士さんとかに処遇改善とかをしていたいと思いますけれども、いろんな面で知識的なものが足りない。どうしても発達障害のお子さんが増えていらっしゃると思いますので、そういう方に寄り添った支援をしていかなきゃいけないということもあり、私達も本当に苦慮している状況です。

夏休みだけお預かりするということになると、その子達の顔とか名前を覚えるのに精一杯で覚えた頃にもう辞めていってしまうということもあって。私もこの事業に20年間ぐらい携わってきているんですけど、こどもさんが少なくなっていく中でも、働くお母さんたちは本当に増えています。けども、いろんな子が来ていて大変になってきていて、うちの会員さんも高齢になってきます。企業での定年が雇用延長になって、もう65歳70歳になっている中で私達もお預かりする年齢で大変になってきますので、そういうこととかいろんなことを考えて、お母さんたちに寄り添って行きたいという気持ちはすごくすご

く思っていて、いろんなお母さんたちの相談にもぜひやらせていただきたいんですけど、なかなか知識が足りない、経験も足りない。本当に一般普通の母親の寄り添い方はできるんですけど、専門的な知識を習得するのがなかなか難しい。どうやって寄り添っていったらいいか、というのが本当に現状です。

なるべくでしたら夏休みもやらせていただければいいなどは考えていますが、現状ではちょっと難しいかなというのと、今普段2か所でやっていて、2単位の施設を作っていただいているんですけど、それもこういう言い方はいけないのかもしれないんですけど、こどもが減ってきているからこの単位で、2単位でどうなのか。45人45人の39人という3単位で、実際本当に待機児童なくお預かりできるのか。

だんだん夏休みを過ぎていくと、高学年の子達はやめていってしまうのが現状なんですけれども、できれば担当の仲本さんも言ってくださったようにいろいろな学年の方の児童での交流を考えているんですけど、岡崎小学校でもそうですけど1年生、2年生、3年生、4年生とかつていう学年単位の預かりになってきています。新居の方も学年単位の預かりになってしまいうつところも、私もすごく危惧しています。できれば、本当にいろんな学年の子をお預かりできるっていう方がいいなって思っています。

本当にこどもさんが少なくなっていく中で、政策というか、いろんな計画を進めていくのも大変だと思います。この資料を見させていただいても、やはり全体的には量が足りているということにはなっていると思いますけど、いろんな委員がおっしゃいましたように保育園に入れなかったとかっていう、そういった声も聞いたこともありますので、個々にいろんな対応ができるような、難しいとは思いますが、そういうような対策というか、そういうことを考えていただければなと思いますので、よろしく願いいたします。

それから、発達障害のお子さんが増えていく中で、私達も相談したいところとか、発達障害のお子さんを持っているお母さんたちにもっともっと寄り添って、この資料見させていただくと、そういう相談窓口ありますっていうのは書いてあったんですけども、そういうのをもっと。心理士さんも少なく、私達もお願いしてもまだ駄目だよ、1週間後2週間後、みたいな、もう本当にすぐに見ていただきたいんですけど、もうちょっと対応早く、早急に対応していただけるようにしていただければありがたいなと。よろしく願いいたします。

(柴田会長)

委員の皆様大変貴重なご意見ありがとうございました。

今日たくさん数字が出てまいりまして、一つ私感じていたことを述べさせていただいて終わりたいと思いますけど、ちょうど同じ委員会で牧之原市の委員

長も私がやらせていただきまして、残念ながら牧之原市の幼稚園で通園バスの置き去り事件が起こってしまった。園の園長先生がちょうど委員会の真正面で座ってらっしゃった園でした。非常につらい事件でした。

あんなことは本当にあってはいけないんですけども、あれ以来全国、県内もそうですけど、保育の質の問題を扱うことが注目され始めていて、これもなかなか行政的には難しい課題ですけど、保育園幼稚園の中で起こっている先生方の不適切な養育みたいなことが問題になりはじめています。

今日の資料はほぼ全て数字のみで、数字さえ達成されていれば何か事業が進んでいるみたいに見えるようになっておりますけれども、では質はどうなんだ、というふうに捉え始めると、これはなかなか行政的にはそこまで追求する、選ぶのは大変なことなんですけども、少しその保育、教育の質も意識していただいて、二度とああいう事件起こっていきませんし、教育保育の中で不適切なこともへの対応があってはいけないと思いますので、そこら辺も少し行政としては意識していただけるとありがたいというふうに思いました。

長い時間いろいろ貴重なご意見をありがとうございました。会議の円滑な進行にご協力をいただきまして感謝を申し上げます。それでは進行を事務局にお返しします。

(事務局 長田)

ありがとうございました。本日ご承認いただきました事業計画に基づきまして、今後も事業を進めてまいります皆様の次のご意見ご協力のほどよろしくお願いいたします。

次に次第4その他でございます。事務局よりご説明いたします。

(事務局 尾崎)

よろしくお願いします。

その他としては3点ございますが、時間を過ぎておりますので少し速足になりますがよろしくお願いします。

まず一つ湖西市こども計画の策定についてのご説明と、事務連絡として次回の会議、それから報酬についてのご案内をさせていただきます。

まず最初にこども計画の策定についてです。資料のA4横、表紙がカラー刷りのものを用意ください。今回この会議で議論させていただいたのは中段左手の青い四角のところです。

湖西市子ども・子育て支援事業計画の第2期になりますけれども、こちらは上段左端子ども・子育て支援法それからその右隣、次世代育成支援対策推進法、これに基づいて策定しているものであります。

子ども・子育て支援法に関するのは今日議論させていただきましたところ、これは法律で義務となっているものでございます。

一方右側のところ、上段の方に行くと少子化社会対策基本法、子供の貧困対策の推進に関する法律、子ども・若者育成支援推進法とありますけれども、こちらに基づいたそれぞれの計画、こちらは任意ではありますが湖西市では現在未策定となっております。

令和5年の4月にこども家庭庁が発足したことで、この各大綱を統合したこども大綱というのを国が現在策定を準備しているところです。これが令和5年、今年の年内には公表予定、年末までにというふうに聞いております。

こちらを勘案したもの、それから現在の子ども・子育て支援事業計画は令和6年度までの計画になっていますので、この次の計画を包含した湖西市こども計画を今後作っていくということで今準備をさせていただいているところです。

資料めくっていただいて、そのこども大綱に向けて今こども家庭庁が準備をしております、令和5年9月に中間報告ということで、この資料が出ております。細かいところに触れませんが、こどもから若者に対してかなり幅広い内容でこの大綱が作られまして、それを勘案した市町村こども計画を定めるということで今湖西市も準備をしているところでございます。

これに向けて、今年度来年度と2年間で準備をしていきまして、令和7年4月から計画をスタートさせるということで準備をしていきますが、今年度につきまして、現在の子ども・子育て支援事業計画の部分、各種の子ども・子育て支援事業の量の見込みというところに関する調査を今年度実施します。就学前の児童の保護者、それから小学生の児童の保護者を対象にして実施をしてまいります。

それともう一つこのこども計画の部分というところですが、こちらについては小学校5年生と中学校2年生、それからその保護者、それと若者として高校生から34歳の市民を対象にしたアンケートを今年度中に実施する予定をしております。

こども大綱が年末に決定する予定でありますので、そのこども大綱の中身を確認しまして、調査内容を最終調整して、来年2月中ぐらいには調査を実施して取りまとめに入り、来年度1年かけて計画の方も実際に策定するという予定をしております。

この子ども・子育て支援事業計画の部分も入りますので、策定の体制は今検討しているところでまた形はまだ未定ですが、皆様にもご協力を引き続きお願いしたいと思っております。

こども計画については以上です。

続いて事務連絡の一点目、次回の会議ですが、次回の会議については、

こども計画策定の調査内容の確認を議題にさせていただきたいと考えております。

国の方針でありますこども大綱が決定された後に、調査内容等が大綱や湖西市の状況に則しているかというのを確認しまして、調査を進めて良いかの決定をしていただくということを考えておりますので、1月中旬ぐらいの開催を予定したいと思っております。

具体的には全体のスケジュールもありまして1月15日からの週のところで開催したいと思います。この場で急ではありますけれども、もし皆様のご予定が確認できれば本日と同じ火曜日、1月16日に皆様のご都合がよろしければここで仮でもいいので設定をさせていただきたいと思います。1月16日火曜日、何かご都合の悪い委員さんとか、いらっしゃいますでしょうか。

よろしいでしょうか。

ひとまずは1月16日、今日と同じ時間にご用意をさせていただきまして、また改めてご案内をさせていただきたいと思います。

2点目は委員報酬のお支払いについてです。本日の報酬につきましては、登録いただきました口座にお振り込みをさせていただく予定です。委員報酬について個別の対応をご希望の方は、会議終了後に事務局までお申しいただければと思います。

説明は以上です。

(事務局 長田)

ここまで何かご質問などはございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それではその他について以上とさせていただきます。

本日の次第は以上となりますが全体を通して何かご質問等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

本日は活発なご議論、次長のご意見は本当にありがとうございました。それでは以上をもちまして、令和5年度第1回湖西市子ども・子育て会議を閉会させていただきます。本日はありがとうございました。